News Release

平成２３年１２月２０日
消　　費　　者　　庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

　消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

１．ガス機器・石油機器に関する事故　９件
（うちガスこんろ（ＬＰガス用）１件、石油温風暖房機（開放式）３件、石油ストーブ（開放式）４件、石油ストーブ（半密閉式）１件）

２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故　３件
（うちＩＨ調理器１件、電気ストーブ１件、電気冷蔵庫１件）

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故　８件
（うち液晶ディスプレイモニター用コード１件、レーザー加工機１件、エアコン１件、充電器（携帯電話機用）１件、靴（パンプス）１件、電気ミニマット１件、圧力鍋１件、電気毛布１件）

４．製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議（※）において、審議を予定している案件
該当案件無し

１．～４．の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者委員会消費者安全専門調査会製品事故情報の公表等に関する調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

５．留意事項
　これらは消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。
　本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

６．特記事項

(1)三洋電機株式会社が製造した石油温風暖房機（開放式）について
（管理番号A201100701）

①事故事象について

三洋電機株式会社が製造した石油温風暖房機（開放式）において、当該製品から燃料タンクを引き上げたところ、当該製品の温風の吹き出し口から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損しました。燃料タンクの引き上げ時に給油キャップ付近から燃料が漏洩した可能性を含め、事故の原因は、現在、調査中です。

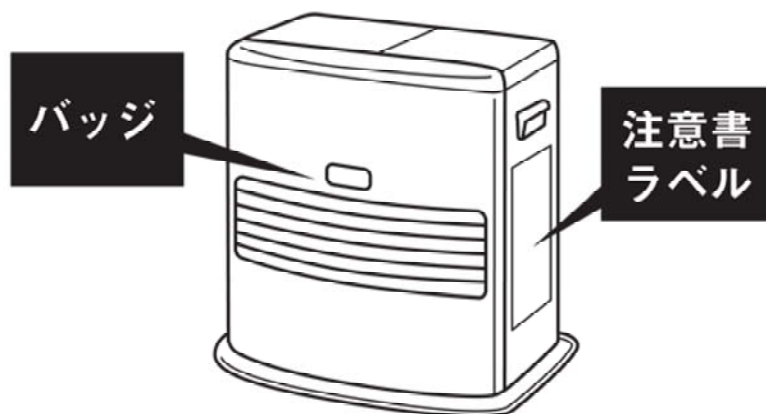
②当該製品の無償点検・部品交換について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品の燃料検出センサーが故障し、その状態で運転を続けた場合、灯油を使い切る直前に温風吹き出し口から瞬間的に炎が出て、すぐに運転を停止してしまうことから、平成１３年９月１７日からホームページへ情報を掲載し、平成１３年９月１８日、１２月３０日、平成１９年１１月３０日から１２月６日にかけて「お知らせ広告」を新聞に掲載し、対象製品について無償点検・部品交換を呼び掛けています。

③対象製品等：会社名、型式、製造年月、改修対象台数

会社名	型式	製造年月	改修対象台数
三洋電機株式会社	CFH-A254 CFH-305 CFH-K2605 CFH-C250B CFH-A325 CFH-T255 CFH-D2604 CFH-A265 CFH-W2605 CFH-G274 CFH-C2505 CFH-HA38 CFH-H25C CFH-C3005 CFH-K260B CFH-D2505 CFH-T254 CFH-D3005 CFH-255 CFH-H30C CFH-2505 CFH-K3205	平成６年 ～ 平成７年	５７８，５４２
ユアサプライムス株式会社	YFH-S25JI YFH-S25D YFH-S24C YFH-S25C		９４，０００
日本電気ホームエレクトロニクス株式会社	FH-25D FH-25E FH-32E		４６，５００
合　計			７１９，０４２

※表内該当機種でも注意書ラベルの下側に〇検シールが貼ってある製品は既に修理が完了しています。

対象製品の確認方法
該当機種名は製品正面のバッジ及び右側面の注意書ラベルに表示してあります。

④消費者への注意喚起
対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、下記問合せ先に速やかに御連絡ください。

［石油ファンヒーター相談室の問合せ先（３社共通)］
電 話 番 号：０１２０－１２－１３８１
受 付 時 間：９時～１７時（土・日・祝日・事業者休日を除く。）
ホームページ：
http://panasonic.co.jp/sanyo/info/quality_trouble/071130cfh.html

⑵株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）について（管理番号A201100707及び管理番号A201100708）
①事故事象について
株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）において、当該製品に給油タンクを装着した直後に灯油が漏れ出し、当該製品及び周辺が焼損する火災と当該製品を使用中、当該製品から出火し、建物１棟が全焼、４棟が類焼する火災が発生しました。事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコールについて
当該製品を含む平成１２年以前に製造された石油ストーブ及び石油ファンヒーター（下記③）に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）については、長期間の使用による給油口の変形などの要因により、給油口がロックされたと使用者が誤認する「半ロック状態」になる事象が発生することが確認されており、石油ストーブ等の給油作業時に、給油口ふたのロック確認を行わなかった場合、給油タンクの給油口が「半ロック状態」で維持されていたことで、ストーブ等に戻す際にふたが開き、灯油がこぼれて火災になる可能性があることから、同社は、平成２０年９月１７日にプレスリリース、翌１８日に社告を実施し、石油ストーブ等に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）使用時の注意喚起をするとともに、販売店の店頭及び消費

者へのアフターサービス訪問時におけるチラシ配布、テレビＣＭ等により、平成１２年以前に製造された石油ストーブ等の給油タンクについて、無償点検・修理を呼び掛けています。さらに、本年においては、これまでの対策に加え、２月から灯油販売所への店頭チラシの配布、製品購入時におけるチラシの同梱を開始しました。

③対象製品等：対象製品名、機種・型式、製造期間、製造台数

（ｉ）対象製品名　：コロナ石油ストーブ等に付属のカートリッジタンク（よごれま栓タンク）

（ⅱ）機種・型式　：平成１２年以前に製造されたコロナ石油ストーブ等で、下表に示す型式に該当するもの

（ⅲ）製造期間　：昭和６２年（１９８７年）～平成１２年（２０００年）

石油ストーブ（反射型）

製造年(西暦)	型式			
1987	SX-1800DX	SX-2200DX		
1988	SX-1800	SX-2200	SX-1800DXA	SX-2200DXA
1989	SX-1810	SX-2210	SX-3000	
1990	SX-1820	SX-2220	SX-3020	
1991	SX-1840	SX-2240	SX-3040	
1992	SX-1850	SX-2250	SX-2250X	SX-3050
1993	SX-1860	SX-2260	SX-3060	
1994	SX-1870	SX-2270	SX-3060	
1995	SX-1880Y	SX-2280Y	SX-3080Y	
1996	SX-1800Y	SX-2200Y	SX-3080Y	NX-22Y
	RX-D18Y			
1997	SX-B21Y	SX-B26Y	SX-B35Y	SX-B27WY
	NX-26Y	RX-B21Y	RX-B26Y	
1998	SX-C210Y	SX-C260Y	NX-26Y	
1999	SX-D27WY			
2000	SX-E210Y	SX-E260Y	SX-E21Y	SX-E26Y
	SX-B35YA	SX-D27WYA	NX-26YA	KM-D27WY

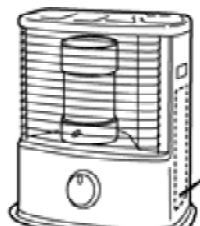
石油ファンヒーター

製造年(西暦)	型式			
1993	FH-3360AYL			
1994	FH-2570Y	FH-3270Y	FH-3370AYL	GT-2570Y
	GT-3270Y	FK-F250	FK-F320	KH-A25Y
	KH-A32Y	KH-3207Y		
1995	FH-2580Y	FH-3280Y	FH-5580Y	FH-2580AY
	FH-3380AY	NH-2580Y	NH-3280Y	GT-2580Y
	GT-3280Y	KH-B25Y	KH-B32Y	FK-G250
	FK-G320	AH-3280Y		
1996	FH-A30Y	FH-A37Y	FH-A47Y	FH-A60Y
	FH-A30AY	FH-A37AY	NH-A30Y	NH-A37Y
	GT-A30Y	GT-A37Y	GT-A30YJ	KH-A30WS
	KH-A37WS	KH-C30Y	KH-C37Y	FK-H30
	FK-H37			
1997	FH-B30AY	FH-B37AY	FH-B30BY	FH-B40BY
	FH-B50BY	FH-B62Y	NH-B30BY	NH-B40BY
	GT-B30BY	GT-B40BY	KH-B30WS	KH-B40WS
	KH-D30BY	KH-D40BY	FK-J30	FK-J40
1998	FH-C320BY	FH-C430BY	FH-C530BY	GT-C30Y
	GT-C32BY	GT-C53BY	FK-K32	FK-K53
	KCF-A300			
1999	FH-D320BY	FH-D430BY	FH-D530BY	FH-MD30Y
	GT-D30Y	GT-D32BY	GT-D43BY	GT-D53BY
	GT-EG30Y	GT-KS30Y	FK-L30	FK-L32
	FK-L43	FK-L53		
2000	FH-E62Y	FH-EX32BY	FH-EX43BY	FH-EX53BY
	FH-ES32BY	GT-E30Y	KM-30Y	KS-E30Y
	FK-M30	FK-M32	FK-M43	FK-M53
	FJ-V30Y			

（ⅳ）製造台数　　：石油ストーブ　　　　　２，０９０，０００台
　　　　　　　　　　石油ファンヒーター　　４，２７０，０００台
　　　　　　　　　　計　　　　　　　　　　６，３６０，０００台
（ⅴ）改修率　　　：　　　　　　　　　１．５％（平成２３年１１月３０日現在）

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・修理を受けていない方は、下記問合せ先に速やかに御連絡ください。

また、事業者による点検・修理を受けられるまでの間は、次図に従って給油口ふたを確実にロックしていることを確認してください。

当該製品に限らず、石油ストーブ等に給油する際は、石油ストーブ等を必ず消火した上で、給油タンクのふたを確実に閉め、ふたが閉まっていることを確認し、石油ストーブ等に戻すよう、正しい給油方法に従って安全に給油を行ってください。

（株式会社コロナの問合せ先）
電 話 番 号：０１２０－６２３－２３８
受 付 時 間：９時～１７時（土・日・祝日・年末年始を除く。）
ホームページ：http://www.corona.co.jp/report/oshirase.html

⑤独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）の対応

株式会社コロナ以外の事業者が製造・輸入・販売したガス・石油ストーブのリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）においては、平成２３年２月１８日より事故防止のための注意喚起チラシ「ガス・石油ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか？」等をホームページに掲載し、消費者に対して、速やかに事業者に連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

（独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）による注意喚起）
ホームページ：
http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall_stove_110218.pdf
http://www.nite.go.jp/jiko/chirashi/data/pdf/57_recall-1.pdf
http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/winter_2011.pdf

(3) ワタナベ工業株式会社が製造し、株式会社山善が販売した電気ミニマットについて（管理番号A201100710）

①事故事象について

ワタナベ工業株式会社が製造し､株式会社山善が販売した電気ミニマットにおいて、当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損、１名が火傷を負いました。事故の原因は、現在、調査中です。

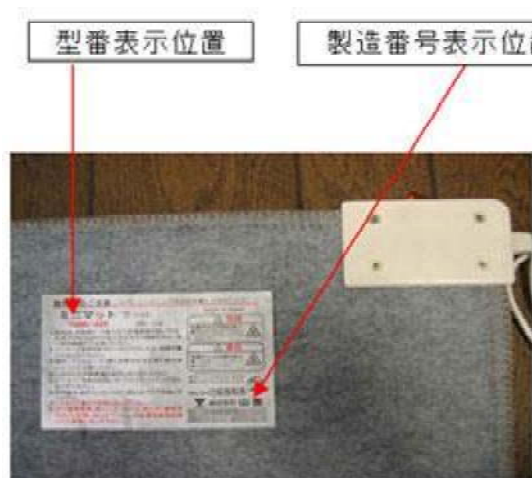
②当該製品のリコールについて

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品のヒーター線を固定する接着剤の不具合によりヒーター線が重なり過熱、出火に至るおそれがあることから、平成１９年１月２２日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について回収を呼び掛けています。

③対象製品等：機種・型式名、製造番号、製造期間、改修対象台数

<table>
<tr><th>機種・型式名</th><th>製造番号</th><th>製造期間</th><th>改修対象台数</th></tr>
<tr><td>ＹＭＭ－４５５</td><td rowspan="3">Ｎｏ．０４－＊＊＊＊＊</td><td rowspan="3">平成１６年　７月
～
平成１６年１１月</td><td>４５，９９７</td></tr>
<tr><td>ＹＭＭ－６０５</td><td>１５，００５</td></tr>
<tr><td>ＷＨＣ－４５Ｇ</td><td>９，３２７</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　計</td><td>７０，３２９</td></tr>
</table>

改修率　　　　５．３％（平成２３年１２月１０日現在）

対象製品の確認方法：

（ラベル部分の拡大）

（ミニマット裏面の全体写真）

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う製品回収を受けていない方は、直ちに使用を中止し、下記問合せ先に速やかに御連絡ください。

（株式会社山善の問合せ先）
フリーダイヤル：０１２０－５４５－１９１
受付時間：９時～１７時（土・日・祝日を除く。）
ホームページ：http://www.yamazen.jp/japanese/csr/quality03/important/list/20070122

（ワタナベ工業株式会社の問合せ先）
フリーダイヤル：０１２０－５４５－１９１

受付時間：９時～１７時（土・日・祝日を除く。）
ホームページ：http://www.watanabe-ind.co.jp/company/images/01.pdf

（本発表資料の問合せ先）
消費者庁消費者安全課
（製品事故情報担当）　担　当：中嶋、榎本、川船（かわふね）
電　話：03-3507-9204（直通）
ＦＡＸ：03-3507-9290

（三洋電機株式会社が製造した石油温風暖房機（開放式）についての発表資料に関する問合せ先）
（株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）についての発表資料に関する問合せ先）
経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室
担当：宮下、谷、野中　電　話：03-3501-1707（直通）
ＦＡＸ：03-3501-2805

■消費生活用製品の重大製品事故一覧　　別　紙

1．ガス機器・石油機器に関する事故（製品起因か否かが特定できていない事故を含む）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100697	平成23年12月5日	平成23年12月15日	ガスこんろ(LPガス用)	RT-650GF	リンナイ株式会社	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品のグリル部から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。	長崎県	
A201100701	平成23年12月12日	平成23年12月15日	石油温風暖房機（開放式）	CFH-2505	三洋電機株式会社	火災	当該製品から燃料タンクを引き上げたところ、当該製品の温風の吹き出し口から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。燃料タンクの引き上げ時に給油キャップ付近から燃料が漏洩した可能性を含め、現在、原因を調査中。	東京都	平成13年9月17日に無償点検・部品交換を呼び掛け（特記事項を参照）
A201100704	平成23年12月5日	平成23年12月15日	石油温風暖房機（開放式）	FH-E347BY	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。当該製品前方に可燃物（衣類）が置かれていた状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	
A201100705	平成23年12月2日	平成23年12月15日	石油ストーブ（開放式）	SX-E270WY	株式会社コロナ	火災	当該製品をライターで点火したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。使用者が点火する数時間前に給油タンクから灯油をこぼした状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201100706	平成23年12月2日	平成23年12月15日	石油温風暖房機（開放式）	FH-2560CL	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。	愛知県	平成23年12月15日に消費者安全法の重大事故等として公表済

1．ガス機器・石油機器に関する事故（製品起因か否かが特定できていない事故を含む）（続き）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100707	平成23年12月2日	平成23年12月15日	石油ストーブ（開放式）	SX-C260Y	株式会社コロナ	火災	給油タンクを装着した直後に灯油が漏れ出し、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。	北海道	平成20年9月17日からリコールを実施（特記事項を参照）改修率　1.5%
A201100708	平成23年12月5日	平成23年12月15日	石油ストーブ（開放式）	SX-B27WY	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、建物が1棟全焼、4棟が類焼した。当該製品の燃焼中に給油した状況及び給油タンクの装着時に灯油がこぼれた状況も含め、現在、原因を調査中。	石川県	平成20年9月17日からリコールを実施（特記事項を参照）改修率　1.5% 平成23年12月15日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201100709	平成23年11月12日	平成23年12月15日	石油ストーブ（開放式）	SX-E249Y	株式会社コロナ	火災	当該製品の上に置いたカセットこんろを使用中、カセットこんろが破裂する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	事業者が事故を認識したのは12月9日 平成23年12月6日に公表したカセットこんろに関する事故（A201100660）及び平成23年12月16日に公表したカセットボンベに関する事故（A201100685）と同一
A201100711	平成23年12月6日	平成23年12月16日	石油ストーブ（半密閉式）	UFH-772USC	サンポット株式会社	火災	当該製品を使用中、火力を上げたところ、しばらくして、当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。火力が上がらない状態で使用していた可能性を含め、現在、原因を調査中。	北海道	

２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100698	平成23年12月3日	平成23年12月15日	IH調理器	KZ-MS32A	松下電器産業株式会社（現　パナソニック株式会社）	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品の一部を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	静岡県	
A201100714	平成23年12月5日	平成23年12月16日	電気ストーブ	TSK-5303Q	燦坤日本電器株式会社 （輸入事業者）	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201100715	平成23年11月22日	平成23年12月16日	電気冷蔵庫	TMJ12ANZRLG	GEアプライアンス・ジャパン株式会社（現窓口　GEインターナショナル・インク） （輸入事業者）	火災	異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品の一部を焼損した。現在、原因を調査中。	東京都	平成23年12月15日に消費者安全法の重大事故等として公表済

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100696	平成23年10月17日	平成23年12月15日	液晶ディスプレイモニター用コード	火災	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。当該製品のコード部が途中で半断線した可能性を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	事業者が事故を認識したのは12月7日 平成23年11月1日に公表したデスクトップパソコンに関する事故（A201100524）と同一
A201100699	平成22年11月2日	平成23年12月15日	レーザー加工機	火災	当該製品を使用中、外出して戻ったところ、当該製品から発煙し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。取扱説明書で禁止している加工中に無人であった状況を含め、現在、原因を調査中。	北海道	事業者が認識したのは12月15日
A201100700	平成23年11月30日	平成23年12月15日	エアコン	火災 死亡1名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	京都府	
A201100702	平成23年12月4日	平成23年12月15日	充電器（携帯電話機用）	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	長崎県	平成23年12月15日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201100703	平成23年10月22日	平成23年12月15日	靴（パンプス）	重傷1名	当該製品を履いて歩行中、転倒し、負傷した。事故前から当該製品の底部が剥がれていた状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは12月5日

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故（続き）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100710	平成23年12月6日	平成23年12月15日	電気ミニマット	火災 軽傷1名	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損、1名が火傷を負った。当該製品が折れ曲がり、椅子の脚に踏まれて使用していた状況を含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	事業者名：ワタナベ工業株式会社（株式会社山善ブランド）（輸入事業者） 機種・型式：YMM-605（株式会社山善ブランド） 当該事故は、製品起因か否かが特定できていないものであるが、対象製品使用者等に向けてリコール内容を周知し、製品回収を着実に促すため事業者名及び機種・型式を公表するもの 平成19年1月22日からリコールを実施（特記事項を参照） 改修率　5.3%
A201100712	平成23年10月14日	平成23年12月16日	圧力鍋	重傷1名	当該製品で調理中、調理物や内容物が吹出し、1名が火傷を負った。事故前から当該製品のパッキンが焼損していた状況を含め、現在、原因を調査中。	奈良県	事業者が事故を認識したのは12月9日
A201100713	平成23年12月3日	平成23年12月16日	電気毛布	火災	建物が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	静岡県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

ＩＨ調理器（管理番号：A201100698）

電気ストーブ（管理番号：A201100714）